

議員提出議案第 1 号

「水の都」西条の水を守る決議について

上記の決議案を別紙のとおり提出する。

平成 3 1 年 3 月 2 0 日提出

提出者	西条市議会議員	岡 村 重 治
〃	〃	高 橋 章 哲
賛成者	〃	真 鍋 顕 伸
〃	〃	佐々木 充
〃	〃	佐 伯 利 彦
〃	〃	城 戸 力
〃	〃	高 橋 保
〃	〃	藤 井 武 彦
〃	〃	三 好 和 彦
〃	〃	今 井 廣 一
〃	〃	井 上 浩 二
〃	〃	御 荘 秀 樹
〃	〃	山 地 美知一
〃	〃	越 智 絹 惠
〃	〃	川 又 由美惠
〃	〃	白 坂 均
〃	〃	坪 井 剛
〃	〃	西 坂 壽
〃	〃	越 智 俊 幸
〃	〃	青 野 貴 司
〃	〃	武 田 功
〃	〃	児 玉 千 春
〃	〃	一 色 輝 雄
〃	〃	楠 學
〃	〃	伊 藤 新 平
〃	〃	堀 江 幸 二
〃	〃	藤 田 節 雄
〃	〃	伊 藤 孝 司

「水の都」西条の水を守る決議

石鎚山脈を水源として、加茂川や中山川などから涵養される豊かで清らかな地下水は「水の都」西条の水文化の源であり、市民全体の財産であり誇りである。

この地下水は、自噴水「うちぬき」として市民生活を豊かに彩るとともに、工業用水や灌漑用水として産業に不可欠な水資源であることはもちろん、工業製品や農産物などのブランド力を高め西条市製品の競争力向上にも大きな役割を果たしている。このように、西条市民は、他の地域では得られないさまざまな恩恵を地下水から享受している。

そして、なにより西条市民の水への思いを考えると、昭和48年3月に完成した黒瀬ダム建設の経緯を忘れてはならない。まず、黒瀬ダムの建設は、加茂川流域の地下水に影響が出ないように運用することを大前提に建設が決まったという経緯がある。更に、西条市とその周辺部は、黒瀬ダムが完成することで工業化による発展という恩恵を享受するに至ったが、その背景には、黒瀬地区住民300人余が故郷を離れるという苦渋の決断をされているという事実がある。

しかし、昨今の気候変動による降雨の変化や、森林荒廃などの社会状況の変化により、河川の流量は非常に不安定な状態になっている上、西条平野では、灌漑期に地下水位が大きく低下し、沿岸部において地下水の塩水化が進行するとともに、周桑平野では、扇状地の末端地域で硝酸態窒素濃度が高まっている。

このように、西条市の地下水は、既にその一部が危機的な状況に陥っていることが判明しており、こうした問題の根本的な解決なしには「水の都」に将来はない。

したがって、本市議会は、決して楽観できる状況にない西条市の水をめぐる各種問題を一刻も早く解決するために、市民・事業者・行政が一丸となって早期に対策を講じること、並びに、このような状況の中で、分水につながる提案には応じないことを、ここに決意するものである。

以上、決議する。

平成31年3月20日

愛媛県西条市議会

提案理由

口頭説明

